株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-0927
2026 年 10 月 29 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アルコニックス株式会社（証券コード:3036）

【新規】

長期発行体格付	Ａ－
格付の見通し	安定的
国内ＣＰ格付	Ｊ－１

■格付事由

(1) 非鉄金属の商社流通と金属加工などの製造の両輪で事業を運営している。独立系専門商社としてアルミ、銅、レアメタル、レアアースなどを取り扱うほか、非鉄金属リサイクルを手掛ける。レアメタル、レアアースの一部商品の取扱数量は国内トップシェアを誇る。また、めっき用材料および関連化学品や非破壊検査装置などの装置材料に加え、切削やプレス、研削などによる精密加工部品の製造販売を行っている。自動車や半導体分野などで使用され、ニッチながら高いシェアを持つ製品を有する。2000 年代後半以降、収益源の多様化を目的とした M&A を積極的に実施したことで業容を拡大させてきた。26/3 期におけるセグメント別売上高構成比は、商社流通セグメントが 59.3%、製造セグメントが 40.7%である。

(2) これまでの M&A によって収益基盤の強化が進んでおり、業績は堅調に推移している。非鉄金属市況の影響を受けるが、多様かつ安定した顧客基盤を背景に一定の不況抵抗力を有する。商社流通セグメントでは多様な調達ルートの構築による供給力を強みとして、幅広い需要に対応している。また、製造セグメントは安定収益源として利益を下支えしているほか、半導体やデータセンターの市場拡大によって需要が増加している製品を複数抱えており、中期的に全社業績を牽引していくと JCR では想定している。過年度の利益蓄積による自己資本の拡充が進展し、財務内容は健全である。以上を踏まえ、長期発行体格付を「A-」とし、見通しを「安定的」とした。

(3) 足元では再生資源ヤードの土地取得により非鉄金属リサイクルにおける事業基盤を強化しているほか、半導体関連領域での需要拡大に対応するための工場新設や設備増強に注力している。今後、これらの成長投資による効果発現に加え、グループ間でのシナジー発現状況を確認していく。また、一部の低採算事業の収益性改善を目的とした構造改革の進捗や M&A および成長投資による財務構成への影響に留意していく。

(4) 27/3 期の経常利益は 140 億円（前期比 56.5%増）と 3 期連続の増益となり、過去最高益を更新する計画。非鉄金属、レアメタルの相場上昇による市況要因のほか、国内外での半導体関連製品の販売増が寄与する見通しである。28/3 期は市況要因や中東情勢に起因した特需による利益が剥落する可能性がある。ただ、製造セグメントでの主力製品の拡販が見込まれる中で、業績は底堅く推移すると想定される。

(5) 27/3 期第 1 四半期末の自己資本比率は 39.0%（26/3 期末 35.6%）、自己資本は 1,129 億円（同 792 億円）である。グループ会社が保有する台湾のレアメタルリサイクル関連企業の株価上昇により、自己資本が増加した。非鉄金属、レアメタル相場が上昇する局面では商社流通セグメントの業績は好調となる一方、運転資金の増加に伴い有利子負債が増加する傾向にある。今後、M&A を含む成長投資や積極的な株主還元に伴い、一定のキャッシュアウトが想定される。ただ、好業績を背景に自己資本は増加する見通しであるほか、現在のキャッシュフロー創出力を踏まえると、現状程度の財務構成は維持可能と考えられる。

（担当）水川　雅義・中井　康一

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

■格付対象

発行体：アルコニックス株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2026 年 10 月 27 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：里川　武
   主任格付アナリスト：水川　雅義
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　アルコニックス株式会社
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **格付関係者による関与**：
   本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■留意事項
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO 登録状況
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.